

シダ植物ヒカゲノカズラ科
ミズスギ
Lycopodium cernuum L.

【選定理由】

県内では生育地・個体数とも少ない。

【概要】

匍匐する茎は長く這い、ところどころで直立した茎を出す。直立茎は分枝して樹木状になる。小枝の葉は線状披針形で全縁。胞子嚢穂は小枝の先に1-2個頂生し、卵形で長さ3-10mm、径2.5-3mm下向きにつく。

本州(伊豆諸島・伊豆半島・東海地方以西の暖地)・四国・九州・南西諸島・小笠原に生育し、石川・富山・長野・神奈川・東北・北海道でも限られた場所に生育する。世

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：-

環境省：-

界の熱帯・亜熱帯に分布する。やや湿った向陽の地に生じる。

【県内の生育地域・生育環境】

県西部では産地・個体数とも若干多いが、東部の分布は限られており、隠岐諸島での分布は知られていない。池の土手や明るい斜面などに生育するのが知られている。

【存在を脅かす原因】

遷移。

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域							
東部	中部	西部	森林	草原	河川	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○					○				○								

シダ植物ハナヤスリ科

ナツノハナワラビ

Botrychium virginianum (L.) Sw.

【選定理由】

県下では個体数が少ない。

【概要】

山地林下に生じる夏緑性のシダで、葉は高さ25-75cm、担葉体の長さは15-35cmで、ふつう葉の高さの半分をこえ、ほとんど無毛。栄養葉は無柄で3-4羽状に細裂し、広い五角形状で基部は切形からやや心形。胞子穂は3-4回羽状に分岐する。北海道から九州北部までの各地に生育し、国外では北半球の温帯から暖帯にかけてと、中南米に分布する。

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：-

環境省：-

【県内の生育地域・生育環境】

各地に産地が点在する。やや陰湿な山地の林床に生育する。

【存在を脅かす原因】

遷移、採集。

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域								
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○	○				○													

シダ植物コバノイシカグマ科

イシカグマ

Microlepia strigosa (Thunb.) Presl

【選定理由】

個体数が少なく、日本海側での分布の北限となる。

【概要】

常緑性で、根茎は長く匍匐し、葉柄は密に毛をつける。葉は2回羽状複生でかための黄緑色をしている。胞子嚢群は小葉の辺縁近くにつく。本州(千葉県南部・伊豆諸島・伊豆半島から西にかけての海岸沿い)・四国・九州・南西諸島・小笠原で、国外ではヒマラヤ・スリランカからボリネシアにかけての旧世界の熱帯・亜熱帯に広く分布する。

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：分布限界種(北限)

環境省：-

【県内の生育地域・生育環境】

各地に点々と分布し、日本海側での北限となる。西部では生育地が点在するが、東部ではきわめてまれであり、隠岐諸島の分布は知られていない。海岸近くのやや乾燥した斜面や林床に生育する。

【存在を脅かす原因】

遷移。

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域								
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○					○					○					○			

シダ植物コバノイシカグマ科
オオフジシダ

Monachosorum flagellare (Maxim.ex Makino) Hayata

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：-

環境省：-

【選定理由】

県内では自生地・個体数ともに少ない。

【概要】

地上生または岩上生の常緑のシダで、根茎は短く斜上し、葉は三角状広披針形で葉は薄く、鮮緑色、2-3回羽状複生する。胞子嚢群は裂片の辺縁からすこし内側に寄つてつく。本州（栃木県および中部地方以西）・四国・九州で暖地の林下に生じる。国外では中国に分布する。

【県内の生育地域・生育環境】

県西部の山地の陰湿な林下に若干の生育地が見られ

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
	◎		○				○														

シダ植物シノブ科

シノブ

Davallia mariesii Moore ex Baker

島根県：準絶滅危惧 (NT)

写真 口絵14

島根県固有評価：-

環境省：-

【選定理由】

県下では個体数も少なく、採集等で激減している。

【概要】

夏緑性で根茎は岩上や樹幹上を長く這って、線状披針形の鱗片が根茎に密につく。葉はまばらにつき、3-4回羽状に細裂する。胞子嚢群は裂片に1個つく。

北海道から南西諸島の山地に生育し、朝鮮半島南部・中国・台湾に分布する。シノブ玉として鑑賞され、各地で採集され、個体数が減少している。

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
◎	○	○	○	○				○					○								

シダ目ミズワラビ科

ミズワラビ

Ceratopteris thalictroides (L.) Brongn.

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：-

環境省：-

【選定理由】

除草剤による影響のほか、近年では県内各地の圃場整備による乾田化及び放棄水田の遷移によって生育場所が減少。

【概要】

本州、四国、九州の水田や池沼などの浅水中に生育する1年生の水生シダ植物。葉には栄養葉（裸葉）と胞子葉（実葉）の2型があり、栄養葉は淡緑色の柔らかい草質で数回羽状に切れ込み、胞子葉は栄養葉よりも硬く、裂片は細長い（幅1-2mm）。胞子のうは葉の裏面の葉

脈上に並んで付き、反転した葉で包まれる。胞子による増殖のほか、栄養葉に生じる無性芽（不定芽）によって無性的に増える。全国的に分布域が減少している水草のひとつである。

【県内の生育地域・生育環境】

水田及びその周辺の畦・水路など。

【存続を齋かす原因】

除草剤による影響及び圃場整備による乾田化と水路のコンクリート化。

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○	△						○					○							

シダ植物シシラン科
シシラン
Vittaria flexuosa Fee

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

産地・個体数ともに少ない。国内での自生の北限を構成している。

【概要】

常緑性で、根茎は短く匍匐し、葉を密につけ、葉は革質、線状で長さ15–45cm、幅4–8mm程度である。胞子嚢群は辺縁に近い葉裏の溝に生じる。関東地方以西から琉球にかけての暖地の山林中の岩上や樹幹に着生する。国外では朝鮮半島・ヒマラヤからマレーシアにかけて分布する。

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○	○	○			○														

シダ植物イノモトソウ科
ナチシダ
Pteris wallichiana Ag.

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：分布限界種（北限）

環境省：－

【選定理由】

個体数・生育地共に少なく、国内での分布の北限を形成している。

【概要】

根茎は短く、葉柄は1mに達し、葉身は基部で3つに分かれ、側枝は後ろ側に短い枝を出して、5角形となる。2回羽状深裂する。裂辺は線状披針形でやや鎌型になる。胞子嚢群は葉裏の縁につく。本州（千葉県以西の暖地）・四国・九州・南西諸島の山地の陰湿な林床に生じる。国外ではアジアの熱帯・亜熱帯に広く分布する。

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○	○	○			○														

シダ植物チャセンシダ科
ホウビシダ
Asplenium hondoense Murakami et Hatanaka

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内では個体数が少なく、国内での分布の北限を形成している。

【概要】

常緑性の小型のシダで、根茎は長くのび、葉軸は赤褐色から黒褐色で光沢がある。葉は単羽状で披針形から長楕円状披針形。胞子嚢群は裂片の中肋近くにつく。本州（石川県・千葉県以西）・四国・九州で溪流近くの湿った岩上に生じる。国外では韓国（濟州島）と中国に分布する。

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○		○			○														

【県内の生育地域・生育環境】

西部には点々と産地が知られるが、東部での分布は非常にまれである。隠岐諸島の分布は知られていない。

【存在を脅かす原因】

森林伐採、土砂の堆積。

シダ植物チャセンシダ科
コバノヒノキシダ
Asplenium sarelii Hook.

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

生育地・個体数ともに少ない。

【概要】

常緑性の小型のシダであり、葉を叢生する。葉身は2-3回羽状複生し、広披針形から長楕円形で、下部の羽片がやや短くなる。胞子嚢群は裂片に1-3個互いに接近してつく。本州（東北地方南部以西）・四国・九州で明るい山野や路傍の岩上や石垣上に生じる。

【県内での生育地域・生育環境】

県内数カ所の岩上に少数生育しているのが知られていて

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域						
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	露岩	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○												○									

シダ植物チャセンシダ科
クルマシダ
Asplenium wrightii Eaton ex Hook.

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

生育地が少なく、国内での分布の北限を形成している。

【概要】

常緑性で根茎は斜上し、葉を叢生する。葉身は単羽状複生で広披針形、濃緑色。葉質は厚く、軟らかい。羽片は10-20対で披針形でやや鎌状になる。胞子嚢は線形で長い。本州（伊豆半島・東海以西）・四国・九州に分布し、山林中の比較的湿った地上やまれに岩上に生じる。国外では、朝鮮半島・台湾・中国・インドシナとフィリピンに産する。

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域						
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口	
	○	○		○				○														

シダ植物シガシラ科
オオカグマ
Woodwardia japonica (L.fil.) Sm.

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：分布限界種（北限）

環境省：－

【選定理由】

産地が限られ、国内での分布の北限を形成している。

【概要】

常緑性で、根茎は太く、斜上から横走し、葉を叢生する。葉身は狭長楕円形から卵状披針形で2回羽状中裂する。胞子嚢は羽片の裂片の中肋に沿って並ぶ。紀伊半島から中国地方西部・四国・九州の平地から低山地のやや乾燥した林下に生じる。国外では韓国（済州島）・台湾・中国・ビルマ・インドシナに分布する。

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域						
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口	
	○							○					○					○				

【県内での生育地域・生育環境】

県西部にいくつかの産地が知られており、低地のやや乾燥した林下に生育している。

【存在を脅かす原因】

森林伐採。

シダ植物オシダ科

シノブカグマ

Arachniodes mutica (Fr. et Sav.) Ohwi

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：-

環境省：-

【選定理由】

県下では個体数が非常に少なく、分布の南限を構成する。

【概要】

常緑性のシダ植物で、根茎は短く、葉を叢生する。葉柄は短く、長さ15–35cm、淡褐色から黒褐色の鱗片を密につける。葉身は卵状長楕円形で長さ40–60cm、幅15–25cm、3回羽状全裂～中裂すし、表は濃い緑色で、裏面はやや白っぽい緑色。小羽片は長楕円形、2–3.5cm、幅7–12mmで羽状に深裂する。胞子嚢群は上部からつき、

生育地域			山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
	◎		○																	

シダ植物オシダ科

ハチジョウベニシダ

Dryopteris caudipinna Nakai

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：-

環境省：-

【選定理由】

低地の社寺林などの森林がよく保存された環境に残存する植物で、そのような環境はあまり残されていないことから、生育地が少なく、希少な植物である。

【概要】

ベニシダに似た常緑のシダで、小羽片が線状披針形から線形で細く、多少鎌状に曲がる。胞子嚢群は小型でやや密生してつく。ベニシダは3倍体無融合生殖であるが、ハチジョウベニシダは二倍体有性生殖種である。神奈川県南部・伊豆半島・伊豆諸島に知られていたが、九州南

部に知られ、島根県に分布することが気づかれてから、日本海側での自生が注意されるようになった。現在は山口県から福井県まで分布が知られている。

【県内の生育地域・生育環境】

隠岐諸島や東部においては各地に生育が知られている。西部での分布については形態的に可能性のあるものがあったが、精査されていない。生育地は低地の保存状態のよい社寺林などの照葉樹林下に生育している。

【存在を脅かす原因】

森林伐採・下草刈り。

生育地域			山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	◎	○					○					○								

シダ植物イワデンダ科

ウスヒメワラビ

Acystopteris japonica (Luerss.) Nakai

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：-

環境省：-

【選定理由】

県内では個体数が少ない。

【概要】

夏緑性のシダで根茎は横に伸び、先端から葉を叢生する。葉身は三角状卵形で3回羽状に複生し、薄い草質である。葉柄や葉軸が暗褐色から紫褐色であることが特徴で、淡褐色の鱗片をまばらにつける。胞子嚢群は裂片の辺縁近くにつく。

東北地方南部から屋久島までの山地の森林中の地上に生じる。国外では台湾から中国南西部に分布する。

【県内の生育地域・生育環境】

隠岐諸島を除き、各地に生育地が点在しているが、個体数は多くない。比較的西部で多く見られる。山地の湿度の高い杉林などの林床で見られる。

【存在を脅かす原因】

森林伐採。

生育地域			山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○	○				○													

シダ植物イワデンダ科
ミヤコイヌワラビ
Athyrium frangulum Tagawa

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

産地・個体数ともに多くない。

【概要】

夏緑性で、全体にみずみずしい印象をうける。根茎は直立し、葉を叢生する。葉柄は緑色またはやや紫かかり、葉身は卵形から橢円形で3回羽状に複生する。羽辺は斜めにつき、柄が長い。胞子嚢群は中肋近くにつき、鉤形のものが多い。本州（関東地方以西）・四国・九州に分布し、山地の川沿いの多湿な林床に生じる。

【県内の生育地域・生育環境】

産地は県西部の山地に限られ、川沿いの杉林林床などの陰湿な地に点々と確認される。県下では生育時、葉の軸が緑色のものがほとんどである。

【存在を脅かす原因】

森林伐採。

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域							
東部	中部	西部	森林	草原	河川	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
◎		○																	

シダ植物イワデンダ科

ハコネシケチシダ*Cornopteris christenseniana* (Koidz.) Tagawa

島根県：準絶滅危惧 (NT)

写真 口絵14

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

産地が少なく、とても希少である。

【概要】

夏緑性で根茎は這う。葉柄は淡緑色でわずかに赤紫色を帯びる。葉身は三角状から橢円形で3回羽状深裂する。裂片は長橢円形胞子嚢群は長橢円形から線形で、裂片の中肋と辺縁の中間生。本州・四国・九州に点在し、山地の湿った林中の林床に生じる。

【県内の生育地域・生育環境】

東部の山中に産地が知られており、やや群生している。

【存在を脅かす原因】

森林伐採。

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域								
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
◎			○																	

シダ植物イワデンダ科

ムクゲシケシダ*Deparia kiusiana* (Koidz.) M.Kato

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

産地・個体数ともに少ない。

【概要】

夏緑性で根茎は地中に長く伸びる。葉は単羽状に深裂する。セイタカシケシダに似ているが、葉に鱗片と毛があり、小羽片の先端は切形、包膜は扁平であることで区別される。本州（山形県および関東地方以西）・四国・九州に産する。

【県内の生育地域・生育環境】

県東部・西部にわずかながら自生が知られる。スギ林

下の湿った環境に自生する。

【存在を脅かす原因】

森林の伐採、踏みつけ。

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域								
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
◎	○					○														

シダ植物ウラボシ科

ヒメサジラン

Loxogramme graminoides (Bak.) C.Chr.

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：-

環境省：-

【選定理由】

生育地が限られ、個体数も少ない。

【概要】

常緑性の小型のシダで、根茎は長く這う。葉は倒卵形で先端に近いところの幅が最大になり、暗緑色。胞子嚢群は長楕円形から線形で葉の上半部で中肋に近く、ほぼ平行してつく。北海道から屋久島にかけて広く分布するが北ではまれのようである。深山の岩上に生じる。国外では朝鮮半島・台湾・中国に分布する。

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
◎	◎	◎	○																		

シダ植物ホウライシダ科

カラクサシダ

Pleurosoriopsis makinoi (Maxim.ex Makino) Fomin

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：-

環境省：-

【選定理由】

産地・個体数ともに少ない。

【概要】

非常に小型のシダで、根茎は長く、コケの間を匍匐し、葉身は長さ1.5–7 cmの小型の葉をつける。両面は褐色の毛をつけ、深緑色。胞子嚢群は裂片の裏面に広がる。北海道から九州にかけての各地で、山中の岩上や樹幹につき、湿ったコケの中にある。国外ではシベリア東部と中国・朝鮮半島に分布する。

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
◎	◎	○	○	○				○													

シダ植物ウラボシ科

アオネカズラ

Polypodium niponicum Mett.

島根県：準絶滅危惧 (NT)

写真 口絵14

島根県固有評価：-

環境省：-

【選定理由】

生育地・個体数ともに少ない。

【概要】

夏に落葉する冬緑性のシダで、根茎は長く伸びる。葉身は広披針形から卵状長楕円形で側列片は15–25対あり、葉質は厚く、やわらかい。表はまばらに裏面はやや密に開出毛がある。胞子嚢群は中肋近くにつき大きい。本州（富山県・関東地方西部以西）・四国・九州で低山地の樹幹や岩上に着生し、暖地に多い。国外では中国南部に分布する。

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
◎	○	○	○	○																	

【県内での生育地域・生育環境】

全域の低山地の樹幹や岩上に着生しているのが知られるが、東部・隠岐諸島では非常にまれである。特徴的な姿から観賞用に採集される場合も多いと考えられる。

【存在を脅かす原因】

採集。

シダ植物アカウキクサ科
オオアカウキクサ
Azolla japonica Fr. et Sav.

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：-

環境省：絶滅危惧 I B類 (EN)

【選定理由】

各地で減少が著しい。

【概要】

小型の浮遊性の水生シダで、アカウキクサによく似ているが、やや大型になり、根毛は早落性で、葉の表面がほとんど平滑か、わずかに小突起がつく程度である。似たアカウキクサは根毛があり、密に小突起がつくので区別できる。秋に全体が赤色になり、冬は先端を残して枯れる。本州・四国・九州に分布し、日本固有種である。

【県内での生育地域・生育環境】

かつては、各地の田に生育していたが、水田除草剤の

生育地域			山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○								○					○							

イチイ目イチイ科

力ヤ*Torreya nucifera* (L.) Sieb. et Zucc.

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：-

環境省：-

【選定理由】

県内の生育地は限られていて、生育地での個体数も限られている。

【概要】

常緑針葉樹で高さ20m、径1m以上の大木になる樹種。樹皮は灰褐色～褐色で縦に裂け、薄皮が細長くはげる。葉は線形で長さ2-3cm、幅2-3mm、先端は鋭くとがり、硬い。雌雄異株とされ、花期は春で、種子は翌年の秋に熟れる。種子は緑色の仮種皮に包まれて、後に紫褐色に熟れる。材はきわめて有用であり、碁盤、将棋盤に

利用されてよく知られる樹種である。

【県内での生育地域・生育環境】

県内の生育地は限られていて、隠岐諸島、出雲、石見の山地の一部に存在する。山地の尾根筋や露岩状の痩せた土地に生育する。

【存続を脅かす原因】

生育地での樹林伐開や、樹木の伐倒。

生育地域			山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○	○																	

ヤナギ目ヤナギ科

バッコヤナギ(ヤマネコヤナギ)
Salix bakko Kimura

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：-

環境省：-

【選定理由】

県内の生育地はきわめて限られていて、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

高さ10m程になる夏緑の樹種。葉は長楕円形で長さ10cm、幅3cm前後で互生し、葉縁は細かい波状縁で、葉脈は裏側にくぼむ。葉裏は粉白色で白毛が密に生える特徴がある。花は春に咲き、葉に先立って咲き、雄花穂は長さ5cm、幅3cm程で大きく、雌花穂も長さ4cm、幅1.5cm程で、全体として銀白色に輝き美しい。国内では北海

道西南部から近畿地方、そして四国に分布するものとされるが、中国山地にもまれに分布している。

【県内での生育地域・生育環境】

県内の生育地は出雲部の一部にのみ見られる。中国山地の斜面に僅かな範囲に群生している。

【存続を脅かす原因】

樹林の遷移による環境変化と人為による樹林、樹木の伐開、伐倒。

生育地域			山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○			○																	

ブナ目カバノキ科

サクラバハンノキ

Alnus trabeculosa Hand.-Mazz.

島根県：準絶滅危惧（NT）

写真 口絵14

島根県固有評価：-

環境省：準絶滅危惧（NT）

【選定理由】

県内の生育地はかなり限られていて、いずれも狭い範囲のものである。

【概要】

水湿地に生える樹高20m、幹茎30cm前後に生長する夏緑の広葉樹である。葉は長楕円形から広楕円形で、長さ7-8cm、幅4-5cmで互生し、表面の脈は裏側にくぼみ、裏面の脈は隆起する。花は早春、葉の出る前に雄花序は枝の先に5個程を下垂して咲き、雌花序はそのもとに3-5個つけて咲く。ハンノキとよく似ているが、成

木の樹皮は灰白色で、ほとんど平滑であり、縦に裂けるハンノキとはかなり異なる特徴である。国内では東北地方南部以西の本州と九州の一部に分布し、中国南東部に分布がつながるものとされている。

【県内の生育地域・生育環境】

県内では石見西部の谷間の水湿地にのみ生育地が知られる。

【存続を脅かす原因】

水湿地の遷移による乾燥立地化、埋め立てによる土地造成などが考えられる。

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域							
東部	中部	西部	森林	草原	河川	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
	◎				◎					◎									

イラクサ目イラクサ科

キミズ

Pellionia scabra Benth.

島根県：準絶滅危惧（NT）

写真 口絵14

島根県固有評価：分布限界種（北限）

環境省：-

【選定理由】

県内の生育地はやや限られていて、生育地での個体数は少ない。

【概要】

中山谷間に生え、茎のものは木質となっている半低木で高さ50cmばかりになる。茎には白色の短毛が密に生える。葉は楕円形で長さ5cmばかりで先は尾状にとがり、互生する。花は春に咲き、雌雄同株とされる植物であり、雄花序は集散状、雌花序は球状に小花をつけるが目立たない。本州の関東以西から四国、九州、南西諸島

の暖地に分布する。

【県内の生育地域・生育環境】

県内では出雲部、石見部の海岸寄りの照葉樹林域内で谷間等の陰湿な地に生育地が点在する。生育地での個体数は多くなく、大きく群生することはない。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開。

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域								
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○		○	○	○	○			○										

イラクサ目イラクサ科

コケミズ

Pilea peploides (Gaudich.) Hook. et Arn.

島根県：準絶滅危惧（NT）

島根県固有評価：-

環境省：-

【選定理由】

県内の生育地は限られていて、人為の影響を受けやすい場である。

【概要】

陰地に生える1年草で、草丈は5-10cm程の小型の柔かい植物である。葉は卵円形で長さ5-10mm程で対生する。花は春から秋に咲き、雌花と雄花が混生して頭状花序をなして葉腋につく。雌花被片は2枚、雄花被片は4枚ある。本州の東北地方から四国、九州、南西諸島に分布して、中国、さらに南方に分布する。

【県内の生育地域・生育環境】

県内では島根半島に生育地が知られているが、他の地域にもあってよいと思われる。主として海岸に近い地に分布していて、陰地の崖や、集落の用水路の縁や、石塔などに生えるものも見られる。

【存続を脅かす原因】

民家周辺での清掃活動などによる生育地の破壊。
生育地の乾燥。

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域								
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○																○				

タデ目タデ科
マダイオウ
Rumex madaio Makino

【選定理由】

県内の生育地は限られていて、人為の干渉を受けやすい場である。

【概要】

川端などの水湿地に生えるやや大型の多年草。開花株は高さ1m前後に茎を立て、長楕円形で長さ30cm、幅10cmばかりの葉を互生する。花は初夏の頃に咲き、茎の上部に枝を分け、円錐花序状に多くの花をつける。本州、四国、九州に分布する日本特産の植物とされる。

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○									○	○											

モクレン目クスノキ科

シロモジ*Lindera triloba* (Sieb. et Zucc.) Blume

【選定理由】

県内の生育地はきわめて限られていて、生育地での個体数もきわめて少数である。

【概要】

夏緑の低木。葉は広倒卵形で長さ、幅共に10cm前後であり、3行脈が顯著で、3中裂して裂片の先は多くはするどくとがることが特徴的である。花は早春、葉が出る前に咲く。花は前年枝の葉腋に芽に散形状に黄色の小花を数個ずつつける。果実は秋に熟し、球形で径1cmばかり、大きな種子が1個ある。本州の中部以西、四国、九

島根県：準絶滅危惧（NT）

島根県固有評価：－

環境省：－

【県内の生育地域・生育環境】

県内では出雲部に少しばかりの生育地が知られる。山間の水田脇や小川の辺りの湿地に生える。

【存続を脅かす原因】

用水路、小河川の改修工事。水田の区画整理の際に生育地が消滅した所もある。洪水による自然災害。

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
	○	○			○																

モクレン目クスノキ科

バリバリノキ*Litsea acuminata* (Bl.) Kurata

【選定理由】

県内の生育地は限られていて、生育地での個体数も多くはない。生育地の中には分布北限地がある。

【概要】

山地に生える常緑の大木となる樹種である。葉は長楕円形で長さ15cm、幅3cm前後、互生する。花は夏に咲き、枝先の葉腋に黄白色の花をつける。雄花、雌花があり、果実は翌年の夏前に黒く熟す。本州は関東以西、四国、九州、南西諸島の暖地に分布するものとされている。

島根県：準絶滅危惧（NT）

島根県固有評価：－

環境省：－

州に分布域がある。

【県内の生育地域・生育環境】

県内では石見西部の西中国山地の一部で、もともと太平洋側分布のもので山陰側に僅かに越して分布しているようにも思える。中国山地脊梁部の尾根筋に生えるものもあれば一部では溪流沿いに生える個体群もある。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開。

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○	○	○																	

島根県：準絶滅危惧（NT）

島根県固有評価：分布限界種（北限）

環境省：－

【県内の生育地域・生育環境】

県内の生育地は石見部、出雲部、隠岐諸島にそれぞれ限られた地に見られる。隠岐諸島では島後にきわめて少数の個体が存在する。県内ではおもに渓谷斜面に生育地があって、他の照葉樹種と混生する。出雲部、石見部での生育地の一部には県立自然公園内に存在していて、それなりに保護された地もある。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開。

キンポウゲ目キンポウゲ科
ユキワリイチゲ
Anemone keiskeana Maxim.

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：-

環境省：-

【選定理由】

県内の生育地は限られている。

【概要】

山地林内、林縁に生える。地中に這う根茎に数枚の根生葉をつけて、草丈は10cmばかり。葉は10cmばかりの葉柄があって、三角形で3小葉に裂けている。小葉は卵状菱形で長さ5cm、幅3cm前後のもの。葉は秋の終りに出て、初夏には枯れるが、表面に独特な白い斑があるのが特徴的である。花は早春に咲き、高さ20cm前後の花茎を立て、上部に3枚の茎葉をつけ、その先に径3cmばかり

で淡紫色の花を1個つける。花は長楕円形の萼片10枚程が花弁状であって目立つ。

本州の近畿地方以西、四国、九州にかけて分布する植物である。

【県内の生育地域・生育環境】

県内では出雲部から石見部にかけて生育地が点在するが、限られている。隱岐諸島での生育地は不明である。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開による生育地の環境変化。園芸上での採取。

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域							
東部	中部	西部	森林	草原	河川	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○	○			○													

キンポウゲ目キンポウゲ科
サンインシロカネソウ
Dichocarpum ohwianum (Koidz.) Tamura et Lauener

島根県：準絶滅危惧 (NT)

写真 口絵14

島根県固有評価：-

環境省：-

【選定理由】

県内の生育地は限られていて、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

山地の溪側に生える草丈20cmばかりの軟かい多年草。葉は茎の上部に対生して、扇状か、または3小葉に裂けて、縁は欠刻状に浅く裂ける。葉はやや黄緑色にちかい特徴的な色である。花は春に咲き、萼片5枚が花弁状で、倒卵形、長さ1cm弱、淡黄色で、基部に暗赤色の部分があって目立つ。花弁も5枚あるが線形で萼片より小さく

目立たない。花後に2~3の地上走出枝を出すことが特徴的である。

本州の福井県から島根県までの日本海側に特有な分布の植物である。

【県内の生育地域・生育環境】

おもに出雲部の山地樹林内の溪側、湿気のある崖地などに生えている。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開などによる生育地の環境変化。園芸上での採取も考えられる。

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域								
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○			○			○														

キンポウゲ目スイレン科
ジュンサイ
Brasenia schreberi J.F.Gmel.

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：-

環境省：-

【選定理由】

減反あるいは圃場整備により、主要な生育場所である溜池の保全・管理が年々行われなくなっている。

【概要】

北海道から九州に至るまで広く分布。多年生の浮葉植物で、腐植栄養湖など酸性の止水域に生育する。地中を匍匐する根茎から細長い水中茎を伸ばし、楕円形の葉をつける。葉の表面は淡黄緑色で光沢があり、裏面は赤紫色を帯び、若い時期には寒天様のぬるぬるした粘液質の物質に被われる。暗紫色の直径1cmほどの花を水面に咲

かせる。秋になると養分の貯蔵のために水中茎の先端部が肥厚し、親植物から離脱して越冬用の殖芽となる。

【県内の生育地域・生育環境】

宍道湖・中海周辺の溜池や三瓶山の姫逃池などに生育。

【存続を脅かす原因】

農業形態の変化による溜池の管理不足。

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域								
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○			○											○				

キンポウゲ目スイレン科
コウホネ
Nuphar japonicum DC.

島根県：準絶滅危惧（NT）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

全国的には普通種であるが、県内では溜池の管理不足や河川の改修によって自生地が減少している。

【概要】

全国各地の湖沼、溜池、水路などに生育する抽水植物。根茎は太い海綿質で葉柄痕が目立ち、先端部から葉を開する。異形葉を持ち、沈水（水中）葉は膜質で淡緑色、浮葉と気中葉は肉質で光沢がある。黄色の花は直径5–7 cm、球形の果実は水中で結実・裂開し、仮種皮に被われた径5 mmほどの種子を分散する。流水中では沈水葉だ

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	△	○	○								○	○					○	○			

キンポウゲ目スイレン科
ヒツジグサ
Nymphaea tetragona Georgi

島根県：準絶滅危惧（NT）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

減反あるいは圃場整備により、主要な生育場所である溜池の保全・管理が年々行われなくなっている。

【概要】

全国に広く分布している多年生の浮葉植物で、酸性の止水域に生育する。塊状の根茎から春先には薄い膜質の沈水（水中）葉を開出し、後に基部が深く切れ込む広楕円形の浮葉を水面に展開する。浮葉の裏面は紫色を帯びる。花には芳香があり、その直径は3–6 cm、柱頭とおしえは黄色で花弁は白色。果実は水中で熟し、数10個か

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○	△				○				○					○					

コショウ目ドクダミ科
ハンゲショウ
Saururus chinensis (Lour.) Baill.

島根県：準絶滅危惧（NT）

写真 口絵14

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内の生育地は、遷移によって消滅することが多い。

【概要】

暖地の水湿地に生えるやや大型の多年草。地中に太い地下茎があって、茎は高さ50 cm程から時に1 m程にもなり、長さ10 cm、幅5 cmばかりの葉を互生する。夏に花が咲く。花序は総状で長さ10 cmばかりで、茎の上部の葉に対生するようにつく。開花期には花序がつく茎の上部の葉は下部が白くなり、目立つ特徴である。花は小さく、両性だが花弁はない。本州、四国、九州、南西諸島から

中国、フィリピンにかけて分布する。

【県内の生育地域・生育環境】

県内では出雲部、石見部の低地に生育地が点在する。多くは溜池の縁に生え、群生する。近年では休耕田が一時的な生育地として見られることもある。

【存続を脅かす原因】

溜池の管理放棄、休耕田などの生育地での遷移による環境変化。

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○									○										

ウマノスズクサ目ウマノスズクサ科
サンヨウアオイ
Heterotropa hexaloba (F. Maek.) F. Maek.

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内の生育地は限られていて、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

山地林内、林縁に生える常緑性の多年草。植物体はほぼ卵形で長さ10cm、幅5cm前後の葉身をもつ葉を数枚根生して生える。葉は長い葉柄があって、葉身の表面は、さまざまな雲紋があって特徴的である。花は春に咲き、径2cm弱の倒円錐状の萼筒からなる花で、萼筒の頭部には6個の瘤状膨出部があるのが特徴である。萼筒は白色

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域							
東部	中部	西部	森林	草原	河川	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
	○		○			○													

バラ目マンサク科
コウヤミズキ
Corylopsis gotoana Makino

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内の生育地は限られていて、いずれも狭い範囲である。

【概要】

夏緑の低木で高さは4-5mばかりで株立ちする樹種。葉は卵円形で長さ10cm、幅8-9cm程のものが互生する。花は早春、葉が出る前に長さ4-5cmの花序を下垂して10個ばかりの黄花をつけて美しく咲く。花序軸は無毛である。本州中部地方以西、四国にかけて分布する。

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域								
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○		○																	

バラ目マンサク科
イスノキ
Distylium racemosum Sieb. et Zucc.

島根県：準絶滅危惧 (NT)

写真 口絵15

島根県固有評価：分布限界種（北限）

環境省：－

【選定理由】

県内の生育地は限られていて、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

樹高20m前後の大木になる常緑の樹種。葉は葉身が長さ6-7cm、幅3cmばかりで厚く、硬い感じで互生する。花期は春。葉腋から出る長さ5cmばかりの総状花序に両性花と雄花をつける。果実は広卵形で長さ1cmばかりのもの。葉にはしばしば大きな虫嚢が、時に多くつき、果実と間違うことがある。国内では関東南部以西、四国、

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域								
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○		○				○													

九州、南西諸島にかけての暖地に分布するとされ、中国大陸にも分布する。

【県内の生育地域・生育環境】

県内では出雲部、石見部の沿岸部の一部に生育地が知られている。神社、仏閣の古い森の中、スダジイ林及びウラジロガシ林内に混生する。県内にはこの種の自生分布北限地があつて貴重である。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開。

バラ目ベンケイソウ科
ミツバベンケイソウ
Hylotelephium verticillatum (L.) H. Ohba

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：-

環境省：-

【選定理由】

県内での生育地は限られていて、生育地での個体数もきわめて僅かである。

【概要】

露岩上に生える夏緑性の多年草。茎は高さ20–50cmばかりで、葉は楕円形で長さ5 cm、幅3 cm前後で多肉質、多くは3–4輪生し、時に対生または5輪生のものもある。花は夏に咲き、茎頂部の複散房花序に黄白色の小花を多数つける。

国内では北海道から本州、四国、九州にかけて分布し、

生育地域				山地地域					里地地域					平野地域					海岸地域				
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	露岩	森林	草原	農地	河川	湖沼	露岩	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
	○	○	○	○				○	○					○									

バラ目ベンケイソウ科

ツメレンゲ*Orostachys japonicus* (Maxim.) Berger

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：-

環境省：準絶滅危惧 (NT)

【選定理由】

県内での生育地は本来、多くはない。生育地での個体数は多い地もあるが、ほとんどの生育地では限られている。

【概要】

多くは乾燥する岩上に生える多肉質の植物である。葉は長さ4–5 cm、幅5 mmばかりの細長い形で多数が根生状に束生する。花は秋に咲き、開花株は高さ20cmばかりの花茎を立てて、穂状に白色の花を多数、密生して咲かせる。開花株は果実枯れる。国内では本州の関東地方以

西、四国、九州に分布して、さらに朝鮮半島、中国に続く分布域をもつ。

【県内の生育地域・生育環境】

県内の生育地は各地に点在する。露岩崖地、岩峯の岩場に生える。園芸上での価値もあるとみえて、採取されることがあり、生育地によってはほとんど採りつくされた地もある。しかし、危険な採取困難な場もあって、多くの個体が生存する生育地もある。

【存続を脅かす原因】

園芸上の採取。各種工事による生育地の破壊。

生育地域				山地地域					里地地域					平野地域					海岸地域				
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	露岩	森林	草原	農地	河川	湖沼	露岩	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○	○					○						○									

バラ目ベンケイソウ科

オオメノマンネングサ*Sedum rupifragum* Koidz.

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：島根県固有種

環境省：準絶滅危惧 (NT)

【選定理由】

島根県固有の植物であるが、生育地は狭い範囲に限られている。

【概要】

多くは岩上に生える草丈20cmばかりの夏緑多年草で、植物体全体が多肉質である。茎は下部で分枝して、長さ2–3 cm、幅3–4 mmの針状披針形の葉を多数互生して、株状をなす。花は春に咲いて、茎頂の集散状の花序に径5 mmばかりの黄色の小花を多数つける。花期にはこの黄色の集まりが美しく目立つ。島根県に固有な種である。

【県内の生育地域・生育環境】

県内の生育地は出雲部の一部の狭い範囲に限られて存在する。陽当たりのよい乾燥する立地を好むが、かなり陰湿な地でもよく生育している。

【存続を脅かす原因】

園芸上の採取があるが、採取困難な危険な岩場もあって、多くの個体が生存する生育場所もある。各種工事による生育地の一部の破壊、個体群の消失。一部では遷移による樹林化が心配される。

生育地域				山地地域					里地地域					平野地域					海岸地域				
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	露岩	森林	草原	農地	河川	湖沼	露岩	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○								○						○									

バラ目バラ科

オオヤマザクラ(エゾヤマザクラ)

Prunus sargentii Rehder

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：-

環境省：-

【選定理由】

県内の生育地は限られていて、生育地での個体数はきわめて少ない。

【概要】

樹高20cmを越す大木となる夏緑の樹種。成木の樹皮は横に長い皮目をもつ。葉は長さ2cm前後の葉柄があつて、葉柄上部に腺があり、葉身は楕円形で長さ10cm、幅6-7cm前後、鋸歯は一部で2重鋸歯となる。花は春に咲き、多くは葉が出る前に葉腋の部分に散形状に数花を咲かせる。花は大きく径4cmばかりになる。北海道から本州、

生育地域			山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○		○	○																	

バラ目バラ科

ナンキンナナカマド

Sorbus gracilis (Sieb. et Zucc.) C. Koch

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：-

環境省：-

【選定理由】

県内の生育地は限られていて、生育地によっては個体数が激減して、生育地が消滅する危険性がある。

【概要】

夏緑性の高さ3m程になる低木で、葉は奇数羽状複葉で3-5対の小葉を対生し、全体は倒卵形の長さ20cm、幅10cm程のもので対生する。宿在性の托葉が1対あることが特徴的である。花は春に咲き、枝先に5-6cmの長さの花序を出し、10花ばかりの小花をつける。果実は楕円形で長さ1cmばかり、赤く熟れる。

生育地域			山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○		○																	

バラ目バラ科

シモツケ

Spiraea japonica L. fil.

島根県：準絶滅危惧 (NT)

写真 口絵15

島根県固有評価：-

環境省：-

【選定理由】

県内の生育地は限られていて、個体数が激減しつつある。

【概要】

高さ1m程の夏緑の低木。葉は多くは卵形で、長さ3-4cm、幅1-2cmばかりで互生する。花は初夏の頃に咲き、今年枝の先端に複散房状の花序に淡紅色から濃紅色の小花を多数つけ、時に美しい。国内では本州、四国、九州に分布し、朝鮮半島、中国にも分布するものとされる。

生育地域			山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○	○	○			○	○												

【県内の生育地域・生育環境】

県内の生育地は隠岐諸島、県中部から石見に生育地があるが、まれである。明るい夏緑二次林内や林縁、山地草原、山中路傍の草地などに生える。生育地によってはその場の遷移による環境変化によって個体が消滅しつつある状態も見られる。

【存続を脅かす原因】

山地草原の樹林化などの遷移による環境変化。

フウロソウ目トウダイグサ科
イワタイゲキ
Euphorbia jolkinii Boiss.

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：分布限界種（北限）

環境省：－

【選定理由】

県内の生育地は限られていて、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

海岸の岩場、砂礫地に生える多年草。茎は30cmばかりで長楕円形で長さ4–5cm、幅7–8mmの葉を多数互生する。花は春に咲く。茎頂部に多くの葉を輪生し、その先に多くの枝を腋生し、特有な杯状花序に花をつける。国内では本州の関東地方以西、四国、九州、南西諸島に分布する。

生育地域				山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域									
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口	露岩
		○																				○

ムクロジ目ムクロジ科
モクゲンジ
Koelreuteria paniculata Laxm.

島根県：準絶滅危惧 (NT)

写真 口絵15

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内の生育地は限られていて、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

夏緑性の樹木で、かなりの大木となる樹種である。葉は1回羽状複葉、長さ30cm、幅15cmばかりで、小葉は長さ7–8cm、幅4–5cmで7–8対。花は初夏の頃、枝先に円錐状の大きな花序に黄色の小花を多数つけて、時に美しく咲く。果実が特徴的であって、長さ5cm、幅3cm程で卵形の風船状に膨れたもので、中に黒色球形の種

子が数個ある。国内での分布は本州のおもに日本海側の海岸にあって、朝鮮半島、中国に続く分布のものである。

【県内の生育地域・生育環境】

省内では隠岐諸島と出雲部の海岸に生育地がある。多くは海岸の露岩崖地や崖錐地などの不安定立地に生育している。国内での分布は自生かどうか不明であるとする資料もあるが、省内での生育地の状況からは自生としてもよいように思える。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開、海岸の開改行為。

生育地域				山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域									
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口	露岩
○		○															○				○	

アオイ目ホルトノキ科
コバンモチ
Elaeocarpus japonicus Sieb. et Zucc.

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内の生育地は石見地方西部にのみ知られていて、生育地での個体数も限られたものである。

【概要】

常緑の樹種で、樹高10数mになり、樹皮は灰白色で、ほとんど平滑である。新梢は緑色で、葉は長さ10cm、幅3–5cmばかりの楕円形で、互生する。年間を通じて、一部の葉が紅色を帯びて紅葉状態のものがみられるのが特徴的である。雌雄異株とされる樹種であり、花は初夏の頃に咲き、前年枝の葉腋につく総状花序に淡黄緑色の

目立たない小花をつける。国内では本州太平洋側、四国、九州、南西諸島に分布し、中国に分布域がつながる植物である。

【県内の生育地域・生育環境】

省内での生育地は県西部にのみ知られている。照葉樹林としてのスダジイ林内から林縁、一部では夏緑二次林、照葉樹萌芽林内にも生える。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開。

生育地域				山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域								
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
	○	○		○				○													

アオイ目シナノキ科

ヘラノキ

Tilia kiusiana Makino et Shirasawa

島根県：準絶滅危惧 (NT)

写真 口絵15

島根県固有評価：-

環境省：-

【選定理由】

県内の生育地は限られていて、生育地での個体数も限られている。

【概要】

夏緑の樹種で樹高は10数mとなる。葉は葉身が三角状卵形で長さ6-8cm、幅3-4cmばかりで基部は左右が不对称形であることは特徴的である。先端は尾状に伸びる。葉柄は1cm程と短い。花は初夏の頃に、葉柄の基部に長さ5cmばかりの花序をつけて淡黄色の小花を10個ばかりつける。仮雄蕊が花弁状で目立つ。総包葉は狭長楕

円形で、この植物の仲間の特徴的な形のものである。果実は径5mm程の球形で白色の短毛が密生する。分布は本州では兵庫、奈良、山口、そして四国的一部と九州があり、本州ではまれな植物である。

【県内の生育地域・生育環境】

県内では石見西部に生育地が知られている。夏緑二次林内の斜面に生える。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開。

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域							
東部	中部	西部	森林	草原	河川	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
	○		○			○													

フトモモ目アリノトウグサ科

タチモ

Myriophyllum ussuricense Maxim.

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：-

環境省：準絶滅危惧 (NT)

【選定理由】

減反あるいは圃場整備により、主要な生育場所である溜池の保全・管理が年々行われなくなっている。

【概要】

全国各地の湖沼、溜池、湿地などに群生する多年生の両生植物。異形葉を持ち、水中と陸上で顕著な形態の可塑性を示す。陸生の場合にはふつう5-20cmほどの高さしかないが、沈水状態の植物の草高は時に50cmにも達する。水中葉（沈水葉）は羽状に細裂し、陸生形の葉（気中葉）は長さ4-10mmの線形またはやや羽状。雌雄異株

で花は気中葉の葉腋に付く。冬季、陸生型は越冬芽（殖芽）を形成して植物体は枯れる。

【県内の生育地域・生育環境】

宍道湖・中海周辺の丘陵部及び平野部の溜池などの止水域に生育。

【存続を脅かす原因】

農業形態の変化による溜池の管理不足。

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域								
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	△	△								○					○					

フトモモ目アリノトウグサ科

フサモ

Myriophyllum verticillatum L.

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：-

環境省：準絶滅危惧 (NT)

【選定理由】

減反あるいは圃場整備により、主要な生育場所である溜池の保全・管理が年々行われなくなっている。

【概要】

全国各地の湖沼、溜池、水路などに生育する多年生の沈水植物。茎がつる状に伸び、よく分枝して繁茂する。これまで県内ではホザキノフサモと絶滅危惧Ⅱ類のオグラノフサモの報告はあったが、フサモの報告は無かった。今回、県東部の溜池でその生育が確認されたことから、情報不足から準絶滅危惧にランクを変更した。

【県内の生育地域・生育環境】

県東部の溜池。

【存続を脅かす原因】

農業形態の変化による溜池の環境変化と管理不足。

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域								
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○										○					○					

セリ目セリ科
ボタンボウフウ
Peucedanum japonicum Thunb.

島根県：準絶滅危惧（NT）

島根県固有評価：分布限界種（北限）

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地はきわめて限られていて、生育地での個体数も僅かである。

【概要】

海岸に生えるやや大型の多年草。葉は1～3回羽状複葉で、少しばかり青白い色が特徴的である。花は夏に咲く。花茎は高さ50cmばかり、時に1m程にもなり、先で2～3の枝を出し、枝先の複散形花序に白色の小花を多数つける。

国内では本州の関東地方以西、四国、九州、南西諸島

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
	○																	○			

ツツジ目ツツジ科

レンゲツツジ*Rhododendron japonicum* (A. Gray) Suringar

島根県：準絶滅危惧（NT）

写真 口絵15

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地はやや限られていて、生育地及び個体数が減少しつつある。

【概要】

夏緑性の樹木で高さ1～2mばかりの低木である。葉は倒披針形で長さ7～8cm、幅2～3cmで枝先に束生する。花は春に咲いて、枝先の短い総状花序に径5cmばかりのやや大きい赤橙色の色を5～10花ばかりつけて目立ち、時に美しく咲く。国内では本州、四国、九州に分布する。

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○			○				○												

ツツジ目ツツジ科

ゲンカイツツジ*Rhododendron mucronulatum* Turcz. var. *ciliatum* Nakai

島根県：準絶滅危惧（NT）

写真 口絵15

島根県固有評価：－

環境省：準絶滅危惧（NT）

【選定理由】

県内では生育地がきわめて限られている。一部では植生遷移により絶滅が危惧される。

【概要】

夏緑低木のツツジ類の一種類で、多くは岩上に生育し、基部から多くの枝を出して叢生する。葉は長さ5cm程、巾2～3cmの楕円形で先端に腺状突起がある。花は早春、葉に先立って咲き、径4cmばかり、淡紫紅色で5深裂の花冠を有する。本州の中国地方、四国、九州の北部から朝鮮半島にかけて分布域がある。

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
	○			○																	

【県内の生育地域・生育環境】

県西部にのみ生育が知られ、個体が群生する地は露岩地の岩上で上層を樹木が被うことのない場所である。

【存続を脅かす原因】

遷移による樹林化、園芸上での採取。

サクラソウ目ヤブコウジ科
タイミンタチバナ
Myrsine segwinii Lev.

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：分布限界種（北限）

環境省：－

【選定理由】

県内の生育地はまれであり、生育地での個体数は限られている。

【概要】

常緑の高さ10m程になる樹種。葉は狭倒卵形から狭長楕円形で長さ15cm、幅3cm前後で、側脈が不明瞭であって、互生する。花は春に咲き、葉腋に5~10花ばかりの白色小花を束生する。果実は径5mmばかりの球形、黒く熟れる。本州の関東以西、四国、九州、南西諸島に分布するとされ、太平洋側の暖地照葉樹林内にはきわめて普

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域							
東部	中部	西部	森林	草原	河川	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
	○					○													

カキノキ目ハイノキ科

クロバイ

Symplocos prunifolia Sieb. et Zucc.

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：分布限界種（北限）

環境省：－

【選定理由】

県内の生育地は限られていて、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

常緑の高さ10数mになる樹種。若木の樹幹には特徴的な白点状の皮目があって目立つ。葉は楕円形で長さ7~8cm、幅3cmばかりで互生する。花は春に咲いて、前年枝の葉腋に5cmばかりの花序を出し、径1cmばかりの白色花を総状に10花程つける。春の照葉樹林内に白色の樹冠はこの樹種の存在を目立たせる。果実は長さ6~7mm

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域								
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○	○				○													

モクセイ目モクセイ科

ヤナギイボタ

Ligustrum salicinum Nakai

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内の生育地は限られていて、生育地での個体数も限られている。

【概要】

夏緑性の高さ5m程になる低木である。葉は楕円形で両端はとがり、長さ10cm、幅3~5cmばかりで対生する。花は初夏に咲き、枝先の大きい円錐花序に白色小花を多数つける。花冠は筒状で中程から先で4裂し、裂片は開花時にやや反曲して咲く。果実は黒く熟れる。国内では本州の近畿以西、四国、九州に分布し、朝鮮半島南部に

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域								
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○	○																	

も分布するとされる。

【県内の生育地域・生育環境】

県内では隠岐諸島、出雲部山地に生育地が知られているが、石見部では不明である。多くは山地の夏緑二次林内、崖錐状地に生えている。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開と生育地の照葉樹林化による環境変化。

リンドウ目マチン科
ホウライカズラ
Gardneria nutans Sieb. et Zucc.

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：分布限界種（北限）

環境省：－

【選定理由】

県内の生育地は限られていて、生育地での個体数はきわめて僅かである。

【概要】

常緑の蔓性の木本植物である。林内、林縁に生えて、周囲の樹種に絡みつき、長く伸び上がり林冠にまで達する。葉はほぼ橢円形で両端はとがり、長さ10cm、幅5cm前後で、対生する。若い枝は緑色である。花は初夏に咲き、葉腋に1～2個の白色花をつける。花冠は5裂して、開花時にはその裂片が強く外側に反り返るのが特徴である。

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○	○	○			○														

リンドウ目ミツガシワ科

ガガブタ

Nymphoides indica (L.) O. Kuntze

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：－

環境省：準絶滅危惧 (NT)

【選定理由】

減反あるいは圃場整備により、主要な生育場所である溜池の保全・管理が年々行われなくなっている。

【概要】

本州以西の池沼や溜池に群生する多年生の浮葉植物。塊状の根茎から葉柄あるいは茎を伸ばし、ハート型の浮葉を水面に展開する。浮葉の大きさは大小さまざままで大きなものは直径20cmを越える。浮葉の表面は淡緑色で全縁、裏面は淡紫色を帯び粒状の腺点が目立つ。花は葉柄の基部に束生し、5裂する花冠は白色で径約15mm、各花

弁の内側に白毛を多数生じる。秋季にバナナの房状の特徴ある殖芽を形成して、冬を越す。

【県内の生育地域・生育環境】

県東部、県中部の池沼や溜池。

【存続を脅かす原因】

農業形態の変化による溜池の管理不足。

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○											○					○				

リンドウ目ガガイモ科

スズサイコ

Cynanchum paniculatum (Bunge) Kitagawa

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：－

環境省：準絶滅危惧 (NT)

【選定理由】

生育地は県全域に点存しているが、生育地での個体数は激減または消滅寸前の場合が多い。

【概要】

陽当たりのよい草地に生える夏緑性の多年草。茎は高さ30～50cmばかりで、線状長楕円形で、長さ7～8cm、幅1cm前後の葉を対生させる。花は夏に咲き、茎の上部の葉腋につく集散状の花序に黄褐色の花をまばらにつける。果実は袋果で披針形、長さ5～8cmばかりである。

北海道から本州、四国、九州に分布して、朝鮮半島、

中国に続く分布がある。

【県内の生育地域・生育環境】

県内の山地草原、林縁の草地、溜池の土堤などの草地に生える。林縁や溜池の土堤などの草地では遷移によって個体群が消滅した所が多くある。

【存続を脅かす原因】

遷移による生育地の環境変化。

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○	○		○			○													

リンドウ目アカネ科

イナモリソウ

Pseudopyxis depressa Miq.

【選定理由】

県内の生育地は限られていて、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

山地に生える多年草。植物体は地を這う根茎があつて、先で直立する地上茎となり、卵形で長さ3~4cm、幅2~3cmの葉を対生して、草丈は5cm前後のもの。花は春に咲いて、多くは葉腋に1個の淡紅紫色の花冠をもつ花をつける。花冠は筒状で長さ2cmあまり、先は5裂片に裂け、開く。本州は関東地方以西、四国、九州に分布する。

生育地域			山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○		○			△														

シソ目ヒルガオ科

アオイゴケ

Dichondra repens Forst.

【選定理由】

県内の生育地は限られていて、生育地は集落周辺にあり、生育地破壊の危険性が大である。

【概要】

地を這う小型の多年草であり、葉は円腎形で、長さ、幅とも1~2cm程度のものである。花は春から夏にかけて咲き、目立たない花であるが、径3mmばかりの小花で、花冠は5裂して黄色である。本州の南部から四国、九州、南西諸島に分布して、さらに熱帯にまで続く分布域がある植物である。県内の生育地はこの植物の分布北限域

生育地域			山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○							○													

シソ目ムラサキ科

ホタルカラズラ

Lithospermum zollingeri DC.

【選定理由】

県内の生育地はまれであつて、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

山地の草地に生える多年草。草丈は20cmばかりで、葉は狭長楕円形で長さ5cm、幅2cm前後で互生する。花は春に咲き、茎の上部の葉腋に径1.5cmばかりの青紫色の花をつける。花冠は漏斗状で先が5裂片に裂け、裂片の基部に白い隆起線があり、特徴的である。花後、茎の下部から長い枝が出て、先で発根し、新しい株をつくる。

生育地域			山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○		○	○				○										○			

島根県：準絶滅危惧（NT）

島根県固有評価：-

環境省：-

【県内の生育地域・生育環境】

県内の生育地はまれであつて、出雲部に2~3の生育地が知られているが石見部での状況は不明である。山地での林道沿いの斜面や岩場などに生えている。出雲部では開発事業により、生育地が消滅した場がある。

【存続を脅かす原因】

生育地での遷移による環境変化。人為による生育地の破壊。

島根県：準絶滅危惧（NT）

島根県固有評価：分布限界種（北限）

環境省：-

になる。

【県内の生育地域・生育環境】

県内では、出雲部の一部、島根半島の東端部にのみ生育地が知られていて、石見部にも生育地が存在する可能性があるが、今のところ不明である。

【存続を脅かす原因】

生育地のほとんどが集落周辺であり、空地や墓地などにあり、人為による生育地の破壊、消滅が心配される。

島根県：準絶滅危惧（NT）

島根県固有評価：-

環境省：-

北海道から本州、四国、九州、南西諸島に分布して、朝鮮半島、中国にもある。

【県内の生育地域・生育環境】

県内では海岸沿いの土地に生育地があり、林縁、山地路傍など崖錐状地の草地に生える。時に海岸クロマツ林内、林縁にも生える。

【存続を脅かす原因】

生育地の遷移による環境変化。

生育地域			山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○		○	○				○										○			

シソ目ゴマノハグサ科
トウティラン
Pseudolysimachion ornatum (Monjus.) Yamazaki

島根県：準絶滅危惧 (NT)

写真 口絵15

島根県固有評価：-

環境省：絶滅危惧 II類 (VU)

【選定理由】

県内では隠岐諸島にのみ生育がある植物で、県外の生育地はきわめてまれであって、個体数も多くはなく、絶滅が心配される所もある。

【概要】

海岸のおもに岩上に生える植物で、草丈は50cmばかりとなり、数本の茎を立てて、株状をなす。植物体全体が白色の綿毛に被われていて、特に葉裏は白色そのものである。葉は長楕円形、長さ5cmばかりで対生する。花は夏に咲き、茎の上部の穗状の花序に青紫色の小花を多数

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域						
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口	露岩
		○																				○

シソ目ゴマノハグサ科

イヌノフグリ*Varonica didyma* Tenore var. *lilacina* (Hara) Yamazaki

島根県：準絶滅危惧 (NT)

写真 口絵15

島根県固有評価：-

環境省：絶滅危惧 II類 (VU)

【選定理由】

県内の生育地は限られている。

【概要】

道端などの草地に生える越年草。茎は分枝して地に這い、草丈は10cmばかりのもの。葉は卵円形で長さ、幅とも1cm前後、対生または互生する。花は春早くに咲く。茎の先端部の葉腋に径3-4mmの淡紅色の小花を1個ずつつける。国内では本州、四国、九州、南西諸島に分布する。

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域						
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口	
○	○	○																○				

シソ目ゴマノハグサ科

カワヂシャ*Veronica undulata* Wall.

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：-

環境省：準絶滅危惧 (NT)

【選定理由】

県内の生育地は点在して、多くはなく、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

おもに川の中や縁に生える越年草で草丈50cmばかりになる。葉は披針形から長楕円状披針形で無柄、長さ7-8cm、幅2cmばかりで対生する。花は春から初夏の頃に咲き、葉腋に長さ10cm前後の総状花序を出し、小花を多数つける。花冠は短い筒があって先は4裂片に裂け淡紅紫色、径3-4mmである。本州の中部以西、四国、九州、

南西諸島に分布し、中国、東南アジアに分布が続く。

【県内の生育地域・生育環境】

県内では限られてはいるが生育地が点在する。平野部から山地の河川水辺に生育するが個体数は多くはない。生育地は年毎にかなり移動することもあり、消滅する場所、新たに生育が確認される場所がある。

【存続を脅かす原因】

生育地での遷移による環境変化。河川改修工事等による生育地の破壊。

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○															○				

シソ目タヌキモ科

イヌタヌキモ

Utricularia australis R.Br.

島根県：準絶滅危惧（NT）

島根県固有評価：-

環境省：準絶滅危惧（NT）

【選定理由】

減反あるいは圃場整備により、主要な生育場所である溜池の保全・管理が年々行われなくなっている。

【概要】

全国の湖沼や溜池、水田などに生育する多年生の浮漂植物。タヌキモとよく似るが、タヌキモの花茎の断面の中央部には小さな穴があるのでに対しイヌタヌキモは中実であること、タヌキモの殖芽が濃緑色の卵球形で大きさ5-20mmほどであるのに対しイヌタヌキモの殖芽が暗褐色の紡錘形で大きさ3-10mmほどであることなどで識別

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域							
東部	中部	西部	森林	草原	河川	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○	○		○				○					○					

マツムシソウ目スイカズラ科

ハマニンドウ

Lonicera affinis Hook. fil. et Arn.

島根県：準絶滅危惧（NT）

島根県固有評価：分布限界種（北限）

環境省：-

【選定理由】

県内の生育地は限られていて、生育地での個体数も限られている。

【概要】

常緑の蔓性木本植物で、分枝して周囲の樹種に絡まり高く樹上に伸び上がる。葉は多くは長さ5-10cm、幅2-4cmばかり、橢円形で対生する。葉裏は粉白のものが多い。花は初夏に咲き、葉腋に長さ5cmばかりの総状花序をつけて、10花程をつける。花冠は長さ3-4cmで、筒状で中程で2裂し、上唇は4裂し、はじめ白色で後に

黄色に変色する。果実は黒く熟れる。中国地方以西、四国、九州、南西諸島に分布する。

【県内の生育地域・生育環境】

県内では出雲部、石見部の海岸沿いの場に生育地がある。出雲部での生育地には分布北限地がある。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開、諸開発工事。

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域								
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○				○														

マツムシソウ目スイカズラ科

オニヒヨウタンボク

Lonicera vidalii Franch. et Savat.

島根県：準絶滅危惧（NT）

写真 口絵16

島根県固有評価：-

環境省：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

東北地方から中国地方までの間に隔離的に分布している植物である。

【県内の生育地域・生育環境】

県内では隠岐諸島にのみ生育地が知られていて、出雲部、石見部での生育地は不明である。夏緑二次林内に生える。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開。

【選定理由】

県内の生育地は限られていて、生育地での個体数も多くはない。全国的にも分布がまれな植物である。

【概要】

夏緑性の低木で、葉はほぼ橢円形で長さ10cm、幅5cm程になり、表面はやや光沢があって対生する。花は5-6月頃に咲き、葉腋に多くは2花ずつつく。花は筒状で先で2唇形となって、白色花、後にやや黄色を帯びてくる。果実は液果で赤く熟れ、ほぼ球形、2果が基部で合着する特徴がある。果実は有毒であるとされる。本州の

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域								
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
		○	○																	

マツムシソウ目スイカズラ科
チョウジガマズミ
Viburnum carlesii Hemsley var. *bitchiuense* (Makino) Nakai

島根県：準絶滅危惧 (NT)

写真 口絵16

島根県固有評価：－

環境省：準絶滅危惧 (NT)

【選定理由】

県内の生育地は限られていて、生育地での個体数も多くはない。全国的にも分布地は限られている。

【概要】

夏緑性の低木で高さ2-3mのもので、葉は橢円形から広橢円形で長さ10cm、幅7-8cmばかり、対生する。花は春に咲き、枝先に集散花序をなして20花程の小花がつく。蕾は紅色を帯びて美しい。花冠は筒状で、先端は5裂し、開花時には外に開き白色である。花には強い芳香があって特徴的である。果実は橢円形、長さ1cmばかり。

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域							
東部	中部	西部	森林	草原	河川	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○	○			○										○			

マツムシソウ目オミナエシ科
カノコソウ
Veleriana fauriei Briq.

島根県：準絶滅危惧 (NT)

写真 口絵16

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内の生育地はまれな状態となっている。生育地での個体数も多くはない。

【概要】

山地の少しばかり湿り気のある草地に生える多年草で草丈は50cmばかりになる。葉は対生するが、茎の下部につく葉は長い葉柄があって羽状に2-3対の小葉があり、上部では柄も短く、羽状に全裂しない小形のものとなる。花は春から初夏にかけて咲き、茎の上部の集散花序に小花を多数つける。花冠は径3mmばかりで淡紅色で

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域								
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○		○																

マツムシソウ目マツムシソウ科
ナベナ
Dipsacus japonicus Miq.

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内の生育地はまれとなっていて、生育地での個体数もきわめてまれである。

【概要】

山地に生えて、茎の高さは1mばかりになるやや大型の越年草。葉は頭大羽状に全裂し、対生する。植物体全体に刺状の剛毛が生える。花は夏に咲く。茎の上部に枝を多く分けて、先に長さ2-3cmの頭状花序に花をつける。総苞片は線形で反り返る。小花の花冠は長さ5-6mmで先は4裂する。国内では本州、四国、九州から朝鮮

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域								
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○	○		○															

半島、中国東北部に分布が続く。

【県内の生育地域・生育環境】

県内の山地の林縁部や川辺などの草地に生育地がまれに存在する。また、時に山中での崩土、崩壊地に群生するのが見られることがあるが、長年にわたって生育地が存続することはまれなようである。

【存続を脅かす原因】

生育地での遷移、樹林伐開などによる環境変化。

キキョウ目キク科

ヒロハヤマヨモギ

Artemisia stolonifera (Maxim.) Komarov

島根県：準絶滅危惧 (NT)

写真 口絵16

島根県固有評価：-

環境省：準絶滅危惧 (NT)

【選定理由】

県内の生育地はややまれで、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

山地の草原や林縁の草地に生える草丈50cmばかりの多年草。葉は多くは卵状長楕円形で長さ10cm、幅5cmばかりで羽状に浅く裂けて、互生する。葉の裏は綿毛があつて白色である。花は夏から秋にかけて咲く。茎の上部に多くの枝を出し、多くの頭花をつける。頭花は小さく、長さ4-5mm、幅3-4mm、鐘球形である。国内では本

州の中国地方から北九州にかけて分布し、さらに朝鮮半島、中国東北部に続く分布域をもつ。

【県内の生育地域・生育環境】

省内では中国山地沿いの山地に生育地が点在する。やや乾いた草原状地に生え、ときに山間の耕作地の周りでの草刈場などにも生育地が存在する。

【存続を脅かす原因】

生育地での遷移による環境変化。草刈場などは耕作地の管理放棄による生育地の樹林化から生育地が消滅している。

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域								
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○			○																

キキョウ目キク科

ダルマギク

Aster spathulifolius Maxim.

島根県：準絶滅危惧 (NT)

写真 口絵16

島根県固有評価：-

環境省：-

【選定理由】

県内の生育地はやや限られていて、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

海岸の岩上、岩壁に生える夏緑の多年草。草丈は30cmばかりになり、根際でいくつかの枝分かれがあって、葉は枝の先に多くが束生する。葉は長さ10cm、幅3-5cmばかりの倒卵状楕円形で基部に向かい狭くなり、両面に軟毛が密生する。花は秋に咲き、頭花は径4-5cmで、舌状花は1列で青紫色。筒状花冠は7mmばかり、果実は長

さ3-4mmで、冠毛は不同長である。舌状花が白色のものがしばしば見られる。九州から日本海側海岸に分布し、山口県から島根県、さらに朝鮮半島、ウスリーにかけて分布域がある。

【県内の生育地域・生育環境】

省内では石見西部と隠岐諸島に生育地が知られている。海岸の風衝崖地や露岩上に強く生える。

【存続を脅かす原因】

園芸上での価値がかなり高く、採取による個体群の破壊が心配される。

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域								
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
	○	○														○			○	

キキョウ目キク科

オッタチカンギク

Dendranthema indicum (L.) Des Moulins var. *maruyamanum* Kitamura

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：基準標本産地

環境省：-

【選定理由】

生育地全体での個体数はかなりな数のものが存在すると思われるが、生育地の範囲が狭く限られたものである。

【概要】

草丈は多くが30-50cm程で、葉は卵形で長さ3-4cm、幅1-2cmで、3~5中裂して、互生する。花は秋に咲き、茎の上部で、ゆるい散房状に枝を分け、頭花をつける。頭花は径2cmばかりで舌状花は黄色に美しく咲く。島根県に固有な型の植物であり、貴重である。

【県内の生育地域・生育環境】

省内での生育地は出雲部の一部の狭い範囲に存在する。多くは岩上、岩質の崖地などの植生が貧弱な立地に生えている。

【存続を脅かす原因】

生育地での遷移による樹林化。道路拡幅工事などによる生育地の破壊。ただし、拡幅工事による岩質の切り土面では年数を経るにつれて個体群が復元することもある。園芸上での採取も見られるが、人の手が届かない危険な立地もあって採りつくされることはある。

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域										
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	露岩	森林	草原	農地	河川	湖沼	露岩	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○				○			○		○				○									

キヨウ目キク科
ハマベノギク
Heteropappus arenarius Kitam.

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：-

環境省：-

【選定理由】

県内の生育地は限られていて、生育地での個体数は多くはない。

【概要】

海岸の砂地に生える越年草、時に多年草。植物体は根生葉があつて、倒卵形で長さ5cm、幅1.5cmばかりで基部は細くなり長さ1.5-3cm程の葉柄部分がある。茎は基部で分枝して四方に枝をだし、先で立ち上がり、頭花をつける。草丈は20cm程のものである。花は夏から秋にかけて咲き、頭花は1個つき、径3-4cmばかりで淡

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域								
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○																			○	

キヨウ目キク科
ナガバノコウヤボウキ
Pertya glabrescens Sch. Bip.

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：-

環境省：-

【選定理由】

県内の生育地は限られていて、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

山地に生える夏緑の草状小低木で、茎は細いが硬く、枝を分けて長さ1mちかくになる。葉は2形あって、1年生の枝には長さ2cmばかりの卵形の葉が互生し、2年生の枝には節毎に長楕円形で長さ2-5cmの葉が4-5枚束生する。花は夏から秋にかけて咲き、2年生枝に束生する葉の中央に1頭花がつく。一年生枝には花はつかない。

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域								
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○			○			○														

イバラモ目トチカガミ科
スブタ
Blyxa echinisperma (Clarke) Hooker

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：-

環境省：絶滅危惧 II 類 (VU)

【選定理由】

減反あるいは圃場整備により、主要な生育場所である溜池の保全・管理が年々行われなくなっている。

【概要】

北海道を除く全国各地の水田、溝、溜池などの浅水中に生育する1年生の沈水植物。きわめて短い地下茎から下方にひげ根を多数出すとともに薄い鮮緑色の葉を水中に根生する。葉縁には細鋸歯がある。葉の長さは10cmから水深の深い場所では1mを超すなど、変化に富む。かつては水田雑草であったが、除草剤の使用や水質汚濁の

影響により、現在では全国的に減少している。

【県内の生育地域・生育環境】

溜池、水田、水路など。

【存続を脅かす原因】

農業形態の変化による溜池の管理不足と水田の乾田化及び側溝のコンクリート化などの生育地の環境変化。

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域								
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○	○		○			○		○			○		○	○				

イバラモ目トチカガミ科

ヤナギスブタ

Blyxa japonica (Miq.) Maxim. ex Ascherson & Guerke

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：-

環境省：-

【選定理由】

減反あるいは圃場整備により、主要な生育場所である溜池や用水路の保全・管理が年々行われなくなっている。

【概要】

北海道を除く全国各地の水田、溝、溜池などの浅水中に生育する1年生の沈水植物。茎が伸張し、植物体の長さ10-30cm、下部は地下茎となり泥中を匍匐し、節からひげ根を出すとともに無柄で線形、時に紫色を帯びた淡黄緑色の薄い互生葉を密に付ける。全体に軟弱。スブタ同様に、かつては水田雑草であったが、除草剤の使用や

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域							
東部	中部	西部	森林	草原	河川	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○	○		○			○		○			○		○				

イバラモ目トチカガミ科

ミズオオバコ

Ottelia alismoides (L.) Pers.

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：-

環境省：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

【選定理由】

主要な生育場所である溜池の保全・管理が年々行われなくなるとともに、圃場整備による水田の乾田化が進行している。

【概要】

全国各地の溜池、水路、水田などに生育する1年生の沈水植物。短い茎からひげ根を多数出し、柄をもつ広卵形の柔らかな薄い葉を根生する。ミズオオバコは日本産の水草の中ではもっとも顕著な種内変異を示す種のひとつで、以前は葉の大きさや葉脈の数などでミズオオバコ

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域								
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○	○						○		○			○		○				

イバラモ目ヒルムシロ科

イトモ

Potamogeton pusillus L.

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：-

環境省：準絶滅危惧 (NT)

【選定理由】

生育場所が限られており、開発によって生育が危ぶまれる。

【概要】

全国各地の湖沼、溜池、水路などに生育する多年生の沈水植物。互生する葉は無柄で線形、先は尖る。長さ2-8cm、幅1-1.5mmで中央脈が明瞭。秋に葉茎の先端部が長さ1.5-2.5cmの殖芽となり、水底に沈んで越冬する。同属のホソバミズヒキモがしばしばイトモと誤同定されるので、注意が必要である。

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域								
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○		○			○					○					○					

【県内の生育地域・生育環境】

以前から隠岐（島後）の池沼での生育が知られていたが、2003年に県東部丘陵部の沼でも見つかっている。

【存続を脅かす原因】

開発による生育場所の消失。

イバラモ目イバラモ科
オオトリゲモ
Najas oguraensis Miki

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：-

環境省：-

【選定理由】

除草剤の影響のほか、減反あるいは圃場整備により、主要な生育場所である溜池や側溝の保全・管理が年々行われなくなっている。

【概要】

本州、四国、九州の湖沼、溜池、水田、溝などに生育する1年生の沈水植物。細い水中茎が2叉状に分枝を繰り返し、葉茎ともに硬いために水中では立体的な構造となるが、茎はもろく容易に折れる。葉身は線形で長さ2 – 4 cm、幅0.5 – 1.5 mmで多数の鋸歯がある。雌雄同株で

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域							
東部	中部	西部	森林	草原	河川	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	△	△						○		○			○		○				

イネ目イネ科

タキキビ*Phaenosperma globosum* Munro

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：分布限界種（北限）

環境省：-

【選定理由】

県内の生育地は限られていて、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

山際などの草地に生えるやや大型の多年草で株として生える。根生葉は長い柄があって、葉身は50cmばかりで広線形。花は夏から秋にかけて咲く。稈は高さ1mばかりで、稈の上部に枝を分けて、円錐状の花序に、1列に小穂をつける。小穂は長さ4mm程で、1花からなる。穎果は球状、長さ3mmばかり。

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域								
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
	○					○														

イネ目イネ科

ウキシバ*Pseudoraphis ukishiba* Ohwi

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：-

環境省：-

【選定理由】

生育場所が限られており、開発が危ぶまれる。

【概要】

本州、四国、九州の湖沼、溜池、水湿地に生育する浮葉あるいは半抽水の多年生植物。茎は長い棹状で軟質。順次枝を出し、上部は斜上あるいは水面に浮かぶ。節から水中に根を出すが、水位が低下した場合には泥中に根を伸ばす。葉身は淡緑色で狭線形あるいは広線形、長さ3 – 6 cm、幅2.5 – 5 mmで、縁はざらついて先はとがる。葉は互生し、長さ約3 cmの筒状の葉鞘が茎を抱く。花序

生育地域			山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域								
東部	中部	西部	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	△	△						○		○			○		○		○			

は棹の先に単生するが基部は葉鞘の中にとどまる。総状花序の長さは3 – 5 cmで筆状に見える。

【県内の生育地域・生育環境】

県東部の溜池。

【存続を脅かす原因】

家庭雑排水の流入による生育地の有機汚濁及び埋め立て。

タコノキ目ミクリ科

ミクリ*Sparganium erectum* L.

島根県：準絶滅危惧（NT）

島根県固有評価：-

環境省：準絶滅危惧（NT）

【選定理由】

県内の生育地はまれであり、将来において存続が心配される。

【概要】

川や池の浅い水中に生える抽水植物の一種であり、植物体は地中に分枝する地下茎の先端に株をつくり群生する。葉は2列で数枚が高さ1m、幅1cm前後で、裏側に稜がある。夏前に葉とほぼ同長の花茎に少しばかりの枝を分け、その枝に球状の花序をつけて花が咲く。枝の下部には雌性花序、上部に雄性花序がつく。雌性花序は熟

して径2cm程の球形の集合果となる。国内では北海道から本州、四国、九州に分布し、北半球の温帯に広く分布範囲があるとされる。

【県内の生育地域・生育環境】

県内では全県にまれに生育地があつて点在している。多くは溜池に生育し、時に大群落が見られる所もある。河川の水辺にも生えることがある。

【存続を脅かす原因】

溜池の管理放棄による遷移。立地の乾燥化。

生育地域

山地地域

里地地域

平野地域

海岸地域

東部

中部

西部

隠岐

森林

草原

河川

湖沼

森林

草原

農地

河川

湖沼

森林

草原

農地

河川

湖沼

林地

草地

砂浜

河口

タコノキ目ミクリ科

ヤマトミクリ*Sparganium fallax* Graebn.

島根県：準絶滅危惧（NT）

写真 口絵16

島根県固有評価：-

環境省：準絶滅危惧（NT）

【選定理由】

県内の生育地はややまれであり、多くは生育地の環境変化による植物体の激減が心配。

【概要】

川や池の浅い水中に生える抽水植物の一種であり、地中に分枝する地下茎の枝の先端に株を作り群生する。葉は2列に数枚がついて草丈50cmばかりとなり、葉の幅は1cmばかりで裏側に稜がある。夏頃に花が開くが、葉とほぼ同長の茎が伸び、葉腋に球状の花序として多くの小花がつく。下方に雌性花序、上方に雄性花序が数個ずつ

つく。雌性花序のうち下部のものは腋上性で、花序の柄は茎と合着する特性があつて、茎の葉と葉の中間あたりに花序がつくよう見える。本州の関東地方以西、四国、九州から南はインドにまで分布域があるとされる。

【県内の生育地域・生育環境】

県内全域に生育地が点在し、農業用水路や溜池に生える。

【存続を脅かす原因】

溜池の管理放棄、河川改修工事などの影響。

生育地域

山地地域

里地地域

平野地域

海岸地域

東部

中部

西部

隠岐

森林

草原

河川

湖沼

森林

草原

農地

河川

湖沼

森林

草原

農地

河川

湖沼

林地

草地

砂浜

河口

タコノキ目ミクリ科

ナガエミクリ*Sparganium japonicum* Rothert

島根県：準絶滅危惧（NT）

島根県固有評価：-

環境省：準絶滅危惧（NT）

【選定理由】

県内の生育地はまれであつて、個体群も小さい。

【概要】

川や池の浅い水中に生える抽水植物の一種であり、植物体は地中に分枝する地下茎の枝の先端に株を作り群生する。葉は線形で2列に数枚が高さ50cmばかりに伸び、幅は1cmばかりで裏側に稜がある。夏頃に葉とほぼ同長の高さに茎が伸び、葉腋に球状の頭状花序を1個ずつつけて花が咲く。下方の数個の花序は有柄で、雌性花序である。上方に無柄の雄性花序がつく。本州から四国、九

州に分布し、朝鮮半島にも分布するものとされる。

【県内の生育地域・生育環境】

県内では出雲部から石見部にかけて生育地がまれに点在する。隠岐諸島での生育地については不明である。生育地はすべて農業用の溜池である。

【存続を脅かす原因】

溜池の管理放棄による遷移、乾燥化。

生育地域

山地地域

里地地域

平野地域

海岸地域

東部

中部

西部

隠岐

森林

草原

河川

湖沼

森林

草原

農地

河川

湖沼

森林

草原

農地

河川

湖沼

林地

草地

砂浜

河口

カヤツリグサ目カヤツリグサ科
サツマスゲ
Carex ligulata Nees

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：-

環境省：-

【選定理由】

県内のやや海岸寄りの山地林内に生育地が点在するが、昭和60年代頃より生育地が消滅したり、個体数が減少してきて、現状がどの程度か明らかではない。

【概要】

山地林内に生える多年草で株となって、草丈50cmばかりとなる。茎の上部には長さ20cm、幅5mmばかりの葉身のある葉を多くつけ、下部では葉身のない葉がつく。葉は白緑色で特徴的である。花は夏前に咲く。雌小穂は長さ3cm前後で柱状、長い苞があり、果胞は倒卵形、長さ

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○		○			○										○				

カヤツリグサ目カヤツリグサ科
キノクニスゲ
Carex matsumurae Franch.

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：分布限界種（北限）

環境省：準絶滅危惧 (NT)

【選定理由】

県内の生育地はまれであり、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

海岸沿いの林内に生える常緑の多年草で、葉はやや硬く、線形で長さ20~30cm、幅1cmばかりで多数が根生して株状となる。花は春早く咲く。稈は高さ30cmばかりで、小穂は4~5個で、頂小穂は雄性である。雌小穂は長さ3cmばかりの柱状で、熟して、帯白色である。柱頭は2岐、果実の頂部の附属体の基部は環状に肥厚する。本州

の関東地方以西、四国、九州に分布し、朝鮮半島にも分布するものとされる。

【県内の生育地域・生育環境】

県内では隠岐諸島に生育地が知られていて、石見部海岸にも分布するとされるが、明らかではない。照葉樹二次林内に生えているが個体数はあまり多くはない。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開による生育地の環境変化。

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
		○														○	○				

カヤツリグサ目カヤツリグサ科
オオクグ
Carex rugulosa Kükenth.

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：-

環境省：準絶滅危惧 (NT)

【選定理由】

県内では生育地が限られている。

【概要】

川口などの汽水域の湿地に生える植物であり、植物体は地中の分枝する根茎から長さ50cm、時に1m、幅は1cm弱のやや緑白色の葉を数枚つけた株として生え、群生する。花は春早く咲き、新葉が出ると同時に花茎を出し、下部に雌性花序2~3個、上部に雄性花序を1個つける。花序は伸びて30~50cmばかりになる。果実は夏前には熟し、果胞は6~7mmで、この類では大きい方であり、よ

く目立つ。国内では北九州以北、朝鮮半島、中国東北部からウスリーの海岸域に分布する。

【県内の生育地域・生育環境】

県内では中海から宍道湖にかけての水辺に生育地がある。中海では群落規模は小さいがほぼ全域に生育地が点在する。大橋川川口附近には優良な規模の大きな群落がある。

【存続を脅かす原因】

生育地での遷移による環境変化。河川改修工事などの人為干渉。

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○																					

カヤツリグサ目カヤツリグサ科

ヒトモトスキ(シシキリガヤ)

Cladium chinense Nees

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：分布限界種（北限）

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地は海岸に点在するが、いずれも小面積で、個体群も小さいものである。

【概要】

塩性湿地から沿海地の湿地に生え、草丈は時に2cm以上になる大形の多年草である。葉は濃い緑で硬く、葉縁も硬く鋸歯状で強くざらつき、猪切茅の名はここにあるのであろう。花は夏に咲き、葉よりも高く花茎を伸ばして、上部の節ごとに多くの枝を分けて房状に多数の小花をつける。アジアの熱帯から中国、南西諸島、本州では

関東以西、能登半島以西に分布するものとされる。

【県内の生育地域・生育環境】

県内での生育地は石見部から出雲部の海岸に点在して、隠岐諸島の島後に分布の北限がある。海岸の岩棚の水湿地に生える。出雲部では中海にも分布し、水辺から浅い水中に生えて、時にオオクグと隣接して見られる場もある。

【存続を脅かす原因】

波浪などによる自然災害。土地改変による生育地の破壊、消滅。

生育地域				山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域									
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口	露岩
○	○	○	○															○			○	

ラン目ラン科

フウラン

Neofinetia falcata (Thunb.) Hu

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：－

環境省：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

【選定理由】

県内では全域に分布する植物であるが、園芸上での採取等によって生育地及び個体数は激減している。

【概要】

照葉樹の樹幹や、時に岩上に着生する常緑の草本で、植物体は長い着生根をもち、短い茎に左右2列に葉を互生し、株となって草丈20cmばかりのものである。葉は広線形で内側に折れ、硬く、長さ10cmばかりで、基部は鞘となっていて、鞘の上部に関節がある。初夏の頃に、葉のもとから長さ10cmばかりの花茎を出し、5花程を総状

に咲かせる。国内では関東以西から四国、九州、南西諸島にかけての暖地に分布する。花には芳香があり、古来より栽培する人があって野生品が好まれて採取される。

【県内の生育地域・生育環境】

県内には広く生育地が点在し、神社、仏閣の照葉樹古木等に着生がみられ、主幹から支幹さらに小枝にも着いている。

【存続を脅かす原因】

着生樹木、樹林の伐倒、倒開と園芸上での採取。

生育地域				山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域								
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○	○	○				○					○								

ラン目ラン科

ヨウラクラン

Oberonia japonica (Maxim.) Makino

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内には広く分布域があるが、生育地はもともと多くなく、その個体数はきわめてまれな状態となっている。

【概要】

樹幹、時に岩上に着生するきわめて小型の常緑多年草である。植物体は長さ5cm止まりのもので小さい株になって下垂して生え、葉は扁平で長さ1-2cm、幅3mm程度で、左右2列に互生する。花は初夏の頃に咲き、茎頂に長さ5cmばかりの花序を出し、多数の黄褐色の小花をつける。国内では関東以西、四国、九州、南西諸島の範

囲に分布域がある。

【県内の生育地域・生育環境】

県全域に生育地は点在している。しかし、各生育地での個体数は多くはない。おもに山林内や神社、仏閣のモミの大木の樹幹に着生するものが見られる。

【存続を脅かす原因】

着生樹木及び樹林の伐倒、伐開。園芸上での採取も考えられる。

生育地域				山地地域			里地地域			平野地域			海岸地域								
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○		○	○	○				○													